

城 東 中 学 校 部 活 動 運 営 方 針

1 部活動の意義

部活動は、学校教育の一環として取り組まれ、共通のスポーツや文化及び科学等に興味・関心をもつ生徒が集い、その能力・適正、興味・関心に応じた活動を通じて、より高い技能や知識の習得を目標に継続して努力し、充実感や達成感を味わうなど、生徒が豊かな学校生活を送るうえで大きな意義をもっています。

また、部活動は、生徒が授業や学級・学年の枠を超えて、共通の目標を掲げた集団が切磋琢磨する中で、顧問教諭との関係や同学年の仲間、先輩・後輩の縦の関係を学ぶなど、自主性、協調性、責任感、連帯感などが養われ、人間関係や社会的資質を培うために重要な活動となっています。

さらに、部活動は、生涯にわたってスポーツや文化及び科学等に親しむ能力や態度をはぐくむとともに、生徒の健やかな体と豊かな心を育て、家庭や地域とのつながりを強め、また、学校の伝統や特色づくり、愛校心の高揚に寄与するなど、学校経営の視点からも大きな意義をもっています。

部活動の指針

- 個性の伸長
- 学習意欲の向上
- 体力の維持、健康の保持増進
- 学校生活の充実
- 自立的な態度の育成
- 豊かな人間性の育成
- 生涯に通ずる基本的技能や知識の習得
- 社会性の育成

2 部活動の位置付け

平成20年3月告示の「中学校学習指導要領総則」に、指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項として、「生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、（中略）学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。」と明記されました。また「中学校部活動での取組を教育課程と関連付けていくこと。」と表記し、部活動と教育課程の関連を明確にしました。

中学校における部活動は、豊かな心と健やかな体の育成にとって重要な教育活動となっています。生徒は、部活動に参加して、スポーツや文化及び科学に親しみ、集団生活の規範意識を高め、学校生活を楽しいものにすることができます。

○部活動は、学校教育の一環として、教育課程と関連付けて取り組まれる、重要な教育活動です。

○部活動は生徒の自主的・自発的な参加により行われる活動であり、「活動したい生徒」「活動できる場所と時間」「指導する顧問」の要件が満たされることにより成立します

3 これからの城東中学校部活動の在り方

平成29年4月、「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」が施行され、中学校、高等学校等における部活動の指導体制の充実を図るため、スポーツ、文化、科学等の技術的な指導を行う

部活動指導員の職務等が明らかにされました。

①部活動指導員の職務

- ・実技指導
- ・安全・傷害予防に関する知識・技能の指導
- ・学校外での活動（大会・練習試合等）の引率
- ・用具・施設の点検・管理
- ・部活動の管理運営（会計管理等）
- ・保護者等への連絡
- ・年間・月間指導計画の作成 …学校教育の一環である部活動と教育課程との関連を図るためなど必要に応じ教諭等と連携して作成し、校長の承認を得ること。
- ・生徒指導に係る対応…部活動中、日常的な生徒指導に係る対応を行うこと。いじめや暴力行為等の事案が発生した場合等には、速やかに教諭等に連絡し、学校として組織的に対応を行うこと。

以上の点をふまえた指導上の注意点

①生徒の望ましい生活習慣と豊かな人間性の育成

部活動は、体力や技術力を向上させるとともに、他者を尊重し他者と協同する態度や 公正さ・規律を重んじる態度を培うなど、生徒の人格形成に大きな影響を及ぼすものです。あいさつの励行、言葉づかいや返事、服装、部活動の準備や後片づけ、登下校の安全やマナー、時間厳守等、規律ある活動を通して、生徒に望ましい生活習慣と豊かな人間性を育む必要があります

②生徒の意欲や主体性の育成

指導者には、生徒が自ら意欲をもって部活動に取り組めるよう、雰囲気づくりや心理面での指導工夫が望まれています。生徒のよいところを見つけ、伸ばしていく肯定的な指導、叱ること等を場面に応じて適切に行っていくことが望まれます。

また、それぞれの目標等に向けて、様々な努力を行っている生徒に対して評価や励ましの観点から積極的に声をかけていくことが望ましいです。

③良好な人間関係形成やいじめ防止

部活動は、複数の学年が参加すること、生徒の参加する目的や技能等が様々であること等の特色をもち、学級経営とは異なる指導が求められます。部活動が起因する人間関係のもつれが、暴力行為やいじめにつながることもあります。そのような事案の発生防止に向け、結果や技術の向上だけにこだわるのではなく、励まし合い、お互いを支え合える仲間づくりを重視した指導を心がける必要があります。

そのためには、顧問は、生徒のリーダー的な資質能力を育成するとともに、顧問と生徒との信頼関係や上級生と下級生、生徒間における良好な人間関係の形成に努めなければなりません。

④状況把握と適切なフォロー

活動の目標によっては、肉体的に大きな負荷を課したり、精神的負荷を与えた条件の下で練習したりすることも想定されます。顧問は、個々の生徒の健康、体力等の状況を事前に把握するとともに、練習中に声をかけて生徒の反応を見たり、疲労状況や精神状況を把握しながら指導したりすることが必要です。

また、顧問の言葉が与える影響は極めて大きく、その一言がプラスにもマイナスにも作用しま

す。顧問は、生徒一人ひとりの心の状態まで配慮した対話を心がけ、信頼関係を深めるよう努めなくてはなりません。試合や練習中に激励等としてかける言葉の効果と影響も十分に理解し、厳しい言葉等を発した後は、生徒へのフォローアップについても留意しなければなりません。

(2) 適切な指導を心がける

①活動中の指導

- ・原則全教職員で指導をする。(指導できない場合は他部の先生に頼むことが望ましい)
- ・部活動の顧問が互いに連携し、生徒の行動に目を配り、安全に活動できているか、注意を払う。
- ・放課後は部活動指導を出来るだけ優先し、人間関係づくりに努める。

②休養日の設定を適切に行う

☆ 1週間のうち、2日は休養日を設定する。(うち、1日は土曜日又は日曜日とする。)

《週休日に休養日を設定できない場合の対応例》

- ☆ 各学校体育・文化連盟等が開催する大会等について、会場借用や役員派遣の関係から、土・日曜日に大会等を開催せざるを得ない実態がある。年間又は月間の活動計画により、活動(参加大会等)の見通しを持ち、必ず休養日を設定する。
 - ☆ 土・日曜日に開催される大会等において、勝ち残るなどの理由から、引き続き、次の土・日曜日にも活動しなければならない場合は、適宜、その間の平日に休養日を設定したり、その大会等の終了後、まとめて(連続した)休養日を設定する
 - ☆ 平日は、2時間以内とする。
 - ☆ 週休日及び休日(長期休業期間を含む)に活動する場合は、3時間以内とする
- ※三重県部活動ガイドラインより**
- ☆長期休業中の土日の活動は原則しないこととする。

③部内ミーティング・キャプテン会議や部日誌等により、顧問と部員及び部員相互の意思の疎通を図る。また、叱責等厳しい指導の後には、声かけをするなどフォローを怠らないようにする

④保護者会や部活動通信などを通じて、指導方針や練習計画等を説明するなど、保護者の理解と協力を得るように努める。